

だっこだっこあみだっこ

ぼく・わたしを育てるほとけのことは
正見（しょうけん）—ありのままを見る—

平成 30 年

1.2
月号

菜園日記

やさいのハテナ
—さといものハテナ

東山浄苑東本願寺発！パパママ子どものフリーペーパーだっこだっこあみだっこです！
あみださまは、おかあさんの「だっこ」のように、あたたかくわたしたちをみまもって下さっている—
そのことに気づいたとき、わたしたちは安心して、自信をもって生きていけます。
未来をになう子どもたちは社会の宝もの。その子どもを育てる子育ては、とても尊い大事な
ことです。いい子になってほしい、と思いながらも、ほんとうのやさしさ、かし
こさ、強さってなんだろう？ —ほとけさまのみ教えが、悩めるパパ、ママのともしびに
なりますように。 ぜひ、ご家族みなさんでお読みください♪

FREE Paper

ぼく・わたしを育てる ほとけのことば

今月のことば：「正見（しょうけん） —ありのままを見る—」

仏教には、今のわたしたちにとって、あたたかなともしびとなることばがたくさんあります。

「ほとけのことば」から、わたしたちの日々のくらしの目標をかんがえてみましょう♪

■12月8日は何の日？

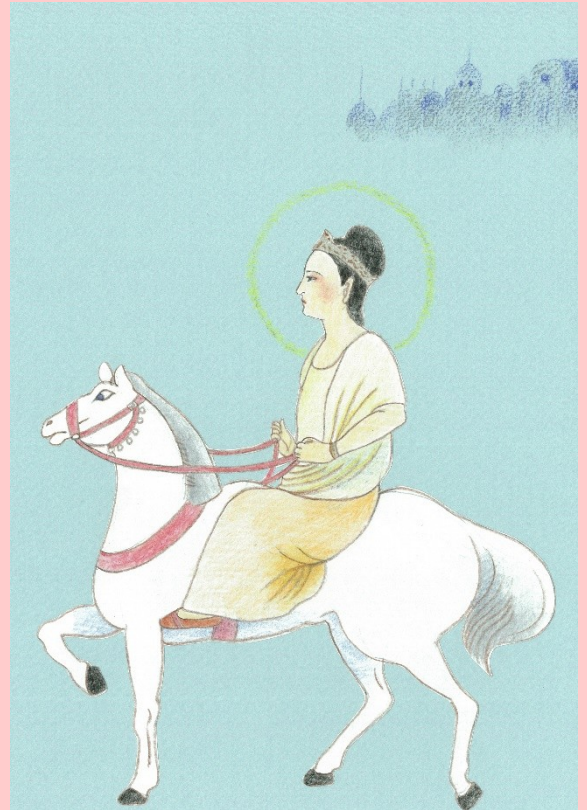
12月8日は、お釈迦さまがさとりをひらいた日・**成道会**（じょうどうえ）です。

今から2500年ほど前、インドのシャカ族の王子として生まれたシッダルタ（お釈迦さま）は、何不自由ない、めぐまれたくらしをしていました。

お城には、東西南北の4つの門があり、ある日、王子が東の門から出たところで、年をとってよぼよぼした老人に、南の門では病気で苦しむ人に、西の門では、なげき悲しみながら、死者を運ぶお葬式の列に、北の門では出家した修行僧に、それぞれ出会われます（**四門出遊**）（しもんしゅつゆう）。

彼らの姿を見て、この世に生まれた私は、必ず年をとって、病気にもなり、死んでしまうという苦しみ（**生老病死**）（しょうろうびやうし）からのがれられない—と王子は気づき、深く悩まれました。

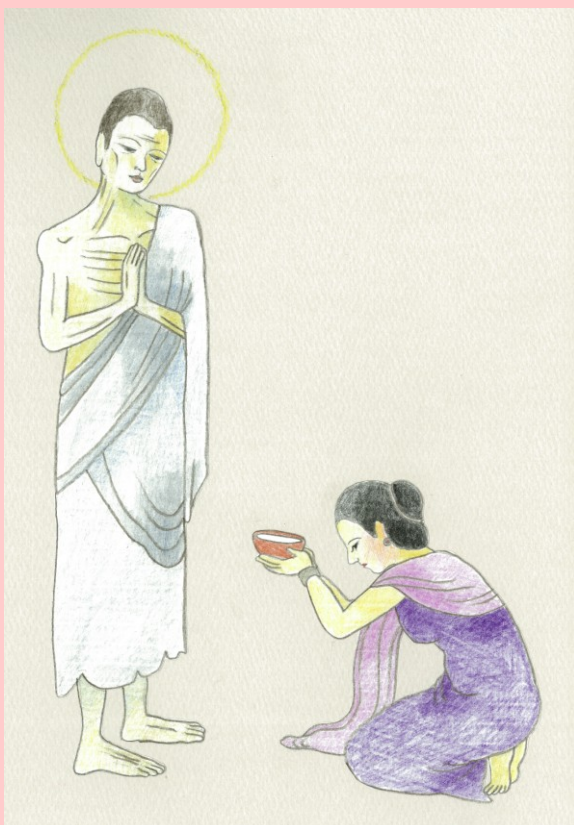
そして王子は、北の門で出あった修行僧の、ひたすらに求道する姿に心を打たれ、自分も出家しようと決意されます。この世にある避けられない苦しみを解決するために、恵まれた将来や王子の地位、お妃（きさき）や我が子をのこして、29歳の時、シッダルタは出家されました。



出家後、シッダルタは、山に入り、何日も食事をとらない苦行、息を止める苦行など、6年にわたり、苦しい修行を続けられました。しかし、シッダルタは、体を痛めつけるつらい修行をしても、さとりを得ることはできない、とおさとりになって、疲れきり、やせ細ったからだで山をおりられ、川でからだを清めました。そして、村娘のスジャーターから乳がゆをもらい、体力を回復されたのでした。

シッダルタは、ピッパラ樹（じゅ）という大きな木の下に座り、心しずかに思いをはせました。悪魔たちがじゃまをしたり誘惑したりしましたが、シッダルタはすべてはねつけ、ただひたすら心しずかに座り続けたのです。そして、12月8日、ついに、すべての苦しみから解放されるさとり、真実の道、仏道（ぶつどう）を完成されました。

お釈迦さま35歳、お城を出てから6年の月日がたっていました。



■お釈迦さまの迷い…そして最初の説法

お釈迦さまは、さとの境地とそのよろこびを、しばらくの間一人きりで静かに味わっておられました。このさを、人々に伝えるべきか—お釈迦さまは迷われました。

さとの内容はあまりに深く、難しい—このさとの内容（仏法）を話し伝えても、人々が理解できなければ、しかたないではないか、それなら自分だけがわかっていればいいではないか—。

しかし、そこへ梵天^{ぼんてん}という神様がやってこられて、「1人でも多くの、なやみ苦しむものたちを、どうかお救い下さい」と3度もお釈迦さまにお願いされ、これにより、お釈迦さまは人々に教えを説く決意をされ、仏法を広める旅に出られました。



初めての説法は、以前苦行を一緒にしていた5人の修行者に行いました。この時、お釈迦さまが話したのが、さを開く道である「八正道^{はっしょうどう}」です。八正道とは、偏見や邪見に惑わされずに、正しく見て、正しく考え、正しく行動することです。

■正しい生き方の実践 — 「八正道」を知ろう！

八正道

- ① **正見** (しょうけん) …すべてのものはうつり変わる事（無常）を理解して、ものごとをありのままに正しく見ること。
- ② **正思** (しょうし) …むさぼりの心や怒りの心を捨て、正しく考えること。
- ③ **正語** (しょうご) …うそや悪口、でまかせな言葉を使わず、正しく話すこと。
- ④ **正業** (しょうごう) …ぬすみを働く、意味なく動植物の生命を絶つなどしない、正しい行いをする事。
- ⑤ **正命** (しょうみょう) …正しい生活を実践すること。
- ⑥ **正精進** (しょうしょうじん) …正しい目的に向かって正しく努力し続けること。
- ⑦ **正念** (しょうねん) …正しく仏さまを念じること。
- ⑧ **正定** (しょうじょう) …いつも心を正しい状態に安定させることで、周囲の変化によってグラグラ動かされないようにすること。

だっこだっこあみだっこは、毎月東山浄苑東本願寺で開催している「親子仏法の集い」の活動内容をもとに編集しています♪

親子仏法の集い - 仏法に親しもう 土に親しもう! - つてなあに?

毎月第3日曜日（行事等で変更の場合あり）に、
東山浄苑東本願寺の菜園で行っている親子向けの活動。
なんでもありがたくいただいて、粗末にしない—古きよき日本人を育てた仏教の教えです。

家族で野菜づくりや年中行事に親しみ、
「いただきます」「ありがたい」の豊かなころを育てましょう。
乳幼児から中学生までのお子さんご家族はどなたでも参加できます。
お気軽にお尋ねください!



【活動日】 1月～3月は花まつり練習のため変則になります 【場所】 東山浄苑東本願寺
詳しくは東山浄苑までお尋ね下さい

※ベビールーム完備 ※屋内無料駐車場完備 ※参加ご家族30組限定

★お問い合わせ・参加のお申し込みは★
東山浄苑東本願寺 総合受付

電話 075-541-8391 毎日9:00
～17:00



月2回
活動があります!

— 参加者募集中! 今後の親子仏法の集いご案内 —

①2月4日(日) / ②2月18日(日)
10:00～12:00

【2月のことばと目標】

むが
無我

—とらわれない、こだわらない—

【活動内容】

①②子ども奉納会（嘆仏偈【お経】のおつとめ）練習

①大根の収穫 / ②土作り



①3月4日(日) / ②3月11日(日)
10:00～12:00

【3月のことばと目標】

じひ
慈悲

—まわりからのやさしさに気づこう—

【活動内容】

①②子ども奉納会（嘆仏偈【お経】のおつとめ）練習

①じゃがいもの植え付け / ②宝探し



【場 所】 東山浄苑東本願寺内

【参加費】

- 花まつり子ども奉納会に参加する方…練習初回参加時に10,000円（1月～4月練習費+当日参加費）をお支払下さい（詳しくはお尋ね下さい）。
- 花まつり子ども奉納会には参加しない方…初回参加無料 / 1家族1ヶ月1,000円

※参加ご希望の方は事前にお電話でお申し込みください。

※野菜の生育状況などによって、活動内容は予告なく変更になる場合があります。

あらかじめ、ご了承ください。

※雨天の場合は、花まつり子ども奉納会の練習、お聖教書写体験など室内企画を行います! お楽しみに♪

だっこだっこあみだっこ 平成30年1・2月号

平成30年1月20日発行 発行・印刷/東山浄苑東本願寺 〒607-8461 京都市山科区上山山旭山町8-1 電話 075-541-8391

無料

